

災害時の誤情報にご注意を！

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、災害時の情報入手や、安否確認の手段としても役立ちます。しかし、誤情報やフェイクニュースに騙されてしまったり、自分が誤情報を拡散してしまったりと、使い方を間違えてしまう恐れがあります。

誤情報に惑わされないようにするために、信頼できる発信元からの情報かを必ず確認しましょう。

●誤情報は主に2種類があります

（１）悪意ある嘘情報

例１．東日本大震災（2011）

千葉県で製油所火災が起きたことから、「有害物質が雨などで一緒に降るので注意」というチェーンメールが出回りました。

例２．熊本地震（2016）

「動物園からライオンが逃げ出した」という嘘情報がSNS上で拡散され、動物園職員が問い合わせの対応に追われることとなりました。

（２）誤解や勘違いから拡散されるデマ情報

例１．実際は、避難所に体調がすぐれない方がいただけなのにもかかわらず、情報が誇張されて「避難所にコロナ患者が発生した」といったデマ情報を発信してしまう。

例２．避難所の受付で長蛇の列を見て、誤解した方が「避難所にもう人が入りきらない」といったデマ情報を拡散してしまう。 など

市では、市ホームページ（<https://www.e-rumoi.jp/>）やテレビのデータ放送など、さまざまな方法で、皆さんへ防災情報を発信しています。また、市防災アプリ「Yahoo! 防災情報」による防災緊急情報の配信も行っています。

▼「Yahoo! 防災情報」
QRコード



災害時は、「Yahoo! 防災アプリ」をダウンロードし、留萌市内の防災緊急情報を確認しましょう。

問 市・総務課 ☎ 56-5005